

愛光 佐倉市移転 30 周年

秋まつり 地域への感謝

令和6年
10/5 (土)

11:00 ~ 15:00
会場：
社会福祉法人愛光内
駐車場

今年は抽選会行いません



会場までの QR コード



【問い合わせ先】

よもぎの園 043-486-8521 担当：近藤

物井⇄会場間送迎あります (10:00 ~ 16:00)
※会場内駐車場には限りがありますので、
出来るだけ交通機関をご利用ください

このチラシは『ワークショップかぶらぎ』で作成したものです。チラシ、封筒、冊子など承ります。お気軽にご連絡下さい。

Aikoh

福祉社会への道を照らす 愛の灯台
～一隅を照らす実践、地域への貢献～ No.83

二〇二四年九月二十日発行(年三回発行)



CONTENTS

特集

～離れていてもつながりを大切に、そして今～
オレンジカフェはちす

キラッと福祉職員

ファミリーフェスタの紹介

ともいきGO!

ボランティア募集 / 日誌抄録

感謝のコーナー / 編集後記

愛光 佐倉市移転 30 周年 秋まつり

～離れてもつながりを大切に、そして今～

オレンジカフェはちす

オレンジカフェとは？
認知症がある方、介護者、
支援者、地域の関心のある
方が気軽に参加できる
集いの場です

愛光オレンジカフェの始まり

愛光のオレンジカフェは高齢者福祉施設「はちす苑」にて2016年よりスタートし、体操や調理など様々な催しと併せ、地域の皆さまとの時間を共にしてきました。

認知症のある無しに関わらず、気兼ねなく語り合える愛光オレンジカフェでは、笑顔があちこちで見られる素敵な時間が流れていました。



そしてコロナが始まった…



2020年、私たちの生活様式を一変させた新型コロナウイルス。感染拡大防止の観点から、はちす苑での開催が困難となりました。ソーシャルディスタンス＝人と人の距離を確保できる場所を探し、南部地域福祉センターで開催するようになりました。

毎月開催はしていたものの、マスクの着用でお互いの表情が見えにくくなり、飲食を含む企画は中止となるなど、これまでと形を変える必要がありました。

画面越しのコミュニケーションにチャレンジしたこともありましたが、物理的な距離感に加え、何となく心理的な距離感も感じ、どこか物足りなさがありました。

2024年現在「やっぱりこの感じがなきゃ」

2023年に新型コロナウイルスは感染症2類相当から5類へと移行しました。私たちは、必要な対策を続けながらどのように元の暮らしを取りもどすのか、模索を始めました。継続して参加していただいていた地域の方からも「以前のようにお茶を飲みながら談笑できないか」といった話が挙がり始めました。

そして検討の結果、同年10月より開催場所をはちす苑に戻すことになりました。最低限の感染対策は行いつつ、同じ場所で、同じ時間を共有できる喜びで、会場にはコロナ前の活気が感じられ、あちら

こちらで「やっぱりこの感じがなきゃ」との声が聞かれ、大いに盛り上がっていました。

認知症カフェの目的の一つは認知症の当事者の方、介護する方、支援者が集うこととされています。その効果が最大に発揮されるのは、やはり互いに顔を合わせることであり、ひとりひとりの想いが直接、周囲の人に伝わっていくことにあるのではないのでしょうか。

愛光のオレンジカフェに興味を持たれた方は、ぜひ下記へご連絡下さい。



お問い合わせ先

主催:南部地域包括支援センター
電話番号:043-483-5520 (担当:岩崎)
開催場所:はちす苑千田ホール
開催日:第4日曜日 14:00~15:30

キラッと ✨ 福祉職員 庭の整備は おまかせ！ ～庭師編～

このコーナーは、
魅力あふれる福祉のお仕事を
さらに詳しくお伝えするべく、
各事業や職種ごとにフォーカス
してお仕事内容を紹介します。



愛光の環境整備をお願い
している斎藤與助さん。
愛光の敷地内には桜の木
をはじめ、たくさんのお木々
低木、芝生などがあり、
そのすべての管理・剪定
を行なっています。

▼仕事内容
植木の剪定
庭園や芝生の管理
愛光外周路の補修
落ち葉の掃除
その他環境整備全般

愛光入職以前は駅長をやっていたという斎藤さん。昔から草
木に興味があり、駅舎の近くにアサガオを植えたり、花を飾つ
たりと以前から自然と関わるが多かったそうです。
定年後に千葉農業大学に通い、庭園管理士と樹医の資格を取
得。愛光に入職されて6年になります。草刈りや外周路の雑草
の手入れなど、外作業は暑さや寒さで大変な仕事ですが、緑の
中で仕事を出来ることにやりがいを感じているそうです。
利用者にも積極的に声をかけており、視覚障害のある方でも
「斎藤さんでしょ！」と覚えてくれていて嬉しいと笑顔で話
されていました。

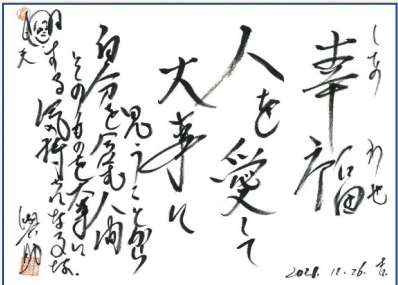


愛光の外周路には、亀の形に剪定
された低木がいくつかあります。
利用者さんと散歩をしているときに
「亀の親子だ！」と楽しそうな声が
聞かれることも。また、めいわ脇の
花壇ではナスなどの野菜を育成中。
利用者さんと一緒に成長を楽しんで
います。「みんなに喜んでもらえる
と嬉しい。」と斎藤さん。
さらに、何の木なのか分かるよう
に樹木名の札をつけてくれており、
利用者さんとの会話のきっかけにも
なっています。整備された外周路で、
四季を感じながら散歩ができるのも
環境整備の斎藤さんのおかげです。



與助展 ～こころ～

書道、マラソン、剣道など多趣味な斎藤さんは、趣味でポエムの作成もし
ています。愛光のロビーで“與助展～こころ～”と題し、数々のポエムを展
示したこともありました。30年以上前に書道を習い、書道の枠にとらわれ
ないポエムを作成。誰かの心に残るポエムを作りたいと現在も作成を続け
ているそうです。右のQRコードより愛光【公式】YouTubeにて、その時の
ポエムの紹介をしています。



盛り上がり！ファミリーフェスタ！

愛光では年に一度、法人内全事業所の職員が一同に会するイベントとして「新年会」
を実施してきました。新型コロナウィルスの感染拡大防止の観点から、2020年以降、
職員新年会は開催せずにいました。

しかし今年、ついに再開が決定しました。名称も『ファミリーフェスタ』となり、秋
のイベントとなります。普段は研修会や委員会活動で他事業所の職員と顔をあわせるこ
とがありますが、この数年はコロナ禍の影響で各活動が事業所ごとに分かれたものにな
っていました。職員一同が集まることのできるこのファミリーフェスタをととして、
今まで以上に職員間の結束力を高め、よりよいサービス提供を心掛けていきます。

今回の記事では、このイベントの雰囲気をお伝えすべく、過去の新年会の様子をお届け
したいと思います。



（上）2020年新年会です。はちす苑の千田ホールに
各部署の職員が集まりました。



（右上）当時の新人職員の面々。このような交流の機会
がスタッフ間の絆を強くしてくれます。



（右下）職員だけでなく、ご家族の参加も可能です。
お子さんたちの参加で会場も賑やかになります。



当日は豪華賞品の当たる抽選会を開催。
豪華食材をはじめ、ゲーム機や遊園地の
チケットなど、多種多様な賞品に会場も
盛り上がりします。



ともしき GO 70 佐倉市 × ウェルシア

もっと佐倉を好きになる

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
コミュニティ まわだし 10:00～	多世代交流サロン ヌック(江原台) 9:40～	隆祥寺(山崎) 10:00～	弥富簡易郵便局 10:00～	藤治台調整池横 10:00～
神門神社隣り 10:30～	青少年体育館 (江原新田) 10:05～	飯田消防機庫横 10:35～	胸形神社前(内田) 10:30～	武家屋敷駐車場向い (宮小路町) 10:40～
宮本区民館 11:00～	山王集会所 10:45～	浜宿第一公会堂 (大佐倉) 11:05～	正光院(高崎) 11:10～	井野町青年会館 11:40～
岩富中央バス停付近 11:30～	上志津原自治会館 はらトピア 11:35～	市営堀の内住宅 (第3棟駐車場) 11:35～	シルバー人材センター (中央公民館隣り) 11:40～	臼井 グリーンハイツ会館 13:40～
下志津ふれあい会館 13:50～	庭博下木材店跡地 14:00～	佐藤内科(並木町) 13:45～	八木農村協同館 14:00～	光自治会館 14:15～
臼井台青年館 14:25～	ハイホーム佐倉 駐車場(弥勒町) 14:30～	真野台会館 14:35～	西光寺(下勝田) 14:30～	アプラス駐車場 (生谷) 14:30～
江原278駐車場 15:00～	ロイヤルレジデンス 佐倉 15:00～	畔田消防機庫横 15:20～	上勝田区民館 15:00～	報恩寺(下志津) 15:00～
		ニココー団地会館 15:50～		

買い物に来ていた方の声

「毎週楽しみに来ています。家の近くまで来てくれるのが
ありがたいですね。宅配も使っていますが、実際にモノ
を見て選んで買い物したいですね。」
「買い物 convenient はもちろん、コロナがあって会わな
くなる人もいた。ここに来ると久々に会える人がある。
それも楽しみです。」

佐倉市高齢者福祉課 清水さんに伺いました

佐倉市と、ウェルシア社は「高齢者等の生活支援及び見守
り」「市民の健康増進及び介護予防」「地域福祉の推進及びコ
ミュニティの活性化」を柱に協定を締結しました。



うえたん号の販売場所や時間の設定
には『地域包括支援センター』に協
力していただきました。買い物だけ
でなく地域の集いの場として楽しま
にされている方も多いように思いま
す。今後もぜひ多くの皆さまにご利
用いただきたいですね。

選べる・出会える・笑顔になれる

佐倉市東部や南部の地域は商店の少ない地区も多く、車の
運転をやめた高齢者やごく近所までしか出歩けない方はちょ
っとした日用品の購入にもご苦労されると想像できます。

「うえたん号」が紡ぐものとは

市内に9店舗を構える「ウェルシア薬局株式会社」(以下「ウ
エルシア」)は日々の買い物に利用されている方も多いのでは
ないでしょうか。

そんなウェルシアに、買い物に行きたくても車など移動手段
が無く困っている高齢者や近隣に商店の無い地区にお住まいの
方などへ移動販売をする事業があることをご存じでしたか？

令和6年1月に佐倉市とウェルシアは『佐倉市とウェルシア薬
局株式会社との地域福祉の推進等に関する連携協定』を締結し、
移動販売車「うえたん号」に様々な商品を積み込み、市内36か
所を回っています。今回は佐倉市高齢者福祉課の方にご協力い
ただき、取組みの目的や効果、現場の雰囲気を取材しました。



宅配業者を使う選択もありますが、“地域や人との関わり”
が薄くなってしまいがちです。今回の取材を通して、単に買
い物ができるというニーズ充足を超えて、コロナ禍を経験し
た私達が“集う”ことの大切さや、企業、行政、福祉が連携し、
その暮らしぶりを支えていくことの意義を感じました。



共に生きる あなたの想いを

次の 10 年の地域の力に

社会福祉法人 愛光 後援会

愛の灯台基金

2024(令和6)年度

会員募集

年会費

個人会員 1,000円(1口)
団体会員 10,000円(1口)

会期：2024年7月1日～2025年6月30日

新規会員、及びご登録会員の皆様のご入会を

心よりお待ちしております。

《お問い合わせ先》 愛の灯台基金事務局 043-484-6398

愛光の地域貢献活動を支援する形で、『愛の灯台基金』を
平成15年に設立しました。「愛の灯台」とは、愛光の経営理
念およびヘレンケラーの言葉に由来しています。

愛の灯台基金は“地域福祉文化の向上”を通して
地域に貢献することを主眼としています。

感謝のコーナー (2024.4～2024.7)

法人ならびに各施設に対して、ご芳志をいただいた皆様です。厚く御礼申し上げます。勝手ながら敬称を省略させていただきます。(順不同)

【個人】酒井綱一郎 吉成庸子 矢野光子 太田正枝 後藤こうさち 宋田紀子 桜井光江

日誌抄録

(2024.4～2024.7)

4月

1日 辞令交付式
1日 新任職員研修
2日 “
3日 “
4日 “
8日 嚙下研修
15日 “
17日 地域食堂ともいき
20日 あいとひかりのコンサート
22日 嚙下研修実践発表会

5月

8日 リーダー研修
15日 地域食堂ともいき
16日 監事監査
17日 監事監査
18日 声の花束コンサート
20日 採用後1年終了面接
21日 監事監査
29日 会計監査

6月

8日 理事会
9日 光和会のご自慢大会
11日 夜間想定防災訓練
19日 地域食堂ともいき
22日 山王みらいプロジェクト
23日 評議員会・オレンジカフェ

7月

1日 辞令交付式
5日 城西国際大学説明会
17日 地域食堂ともいき
18日 メンティー交流会
20日 山王みらいプロジェクト
27日 山王夏祭り
28日 オレンジカフェ



編集後記

今回の特集ページではオレンジカフェを取り上げさせていただきました。コロナ禍では感染症対策など行動制
限も多く苦労したこともありましたが、その時期があったからこそ人と人との繋がりの大切さを実感します。今回
の記事でオレンジカフェの歩み、活動について知っていただけたら幸いです。(岩崎)

編集委員

宮部和樹(委員長) / 野呂快(ルミエール) / 関谷篤史(めいわ) / 仲山友里恵(リホース) / 岩井聡子
(根郷通所センター) / 清水翔太(はちす苑) / 岩崎秀夫(南部包括支援センター) / 高橋飛鳥(ワークショッ
プかぶらぎ) / 齋藤理江(児童センター・学童) / 須藤譲(本部)

2024 年(令和 6 年)9 月 20 日 発行

社会福祉法人 愛 光

発行人 西原 弘明

編集人 広報委員会

〒285-0807千葉県佐倉市山王2-37-9

TEL.043-484-6391

FAX.043-484-6396

E-MAIL mail@rc-aikoh.or.jp

URL https://www.rc-aikoh.or.jp

印刷：ワークショップかぶらぎ